

広中央店

こんちは！広中央店の胡濱です。だんだんと肌寒くなり、空気も乾燥してきます。マスクを着けたりお部屋に濡れたタオルを干すなどして湿度を保ち、体調にはお気をつけくださいね！さて先日、**熊野町の筆の里工房**に行ってきました。目当ては、「**スタジオジブリ 魔法の言葉展**」です！プロデューサーの鈴木敏夫さんが携わった作品の手書き資料や、キャラクターデザイン、名台詞を書き下ろしたものなどを展示しているイベントでした。最初に目に入ったのは千と千尋の神隠しの油屋（湯屋）のジオラマとその周りに名言が飾られたブースでした。とても素敵で最初からテンションが上がってしまいました（＾＾）映画のタイトルも鈴木さんがデザインされており、パソコンで作っているのかと思いきや全て手書きでデザイン！中には宮崎駿監督に「今その場で書いて」と言われて書いたものもあり驚きました！落書きも大好きなようで、チラシの裏やティッシュにキャラクターを書いたものも展示されていました。しかし落書きとはいってクオリティーは高く、見るのが楽しかったです♪会議資料や作品の流れをまとめたものも全て手書き。活字とは違って、人柄や作品の味が出てくる感じがしていいなと思いました。展示を一通り見た後、筆の里の方と少しお話をする機会がありました。「いくつになっても趣味というのは大切で、たまには美術館や筆の里のような施設に行ってみることはとってもいいよ！」と話されました。そして、「ずっと文字は書き続けて欲しい。例えば印刷のみの年賀状は二度と見返さないけど、一言書いてあると気持ちも伝わる大事にする。手書きは大切にしてほしいな。これがおじいちゃんのお願い！」と。展示や施設の方のお話を通して、「書く」というのは良いものだと改めて感じました。子供の頃に書道していたので書くことは好きですし、いつかまた書道を習いに行きたいなと思っています。小学生ぶりの筆の里。大人になっても大事なことを学べた1日でした！！



広中央店 調剤

皆さんこんちは。広中央店の丸中です。暑かった夏もあっという間に過ぎ去り、急に朝晩が冷えてきましたが、風邪などひかれていませんか？これから益々寒さが増してくるので体調管理に気を付けて下さいね。ところで、私は最近ある事を達成しました。それは、四国ハナハケ所を全部回ってきました！そう、**お遍路さん**です。とはいって歩いて巡礼するのは到底無理なので車遍路なのですが。お遍路を始めようと思ったのは、今から10年以上前。友人と旅行で足摺岬に行った時に、たまたま立ち寄った第38番金剛福寺。ここで『納経帳』を知りました。今でこそ『御朱印ガール』なんて言葉もあるくらいですが、流行に乗るというよりは、もともとお習字が好きで、一緒に旅行に行った友人は師範免許を持つくらいの腕前で、2人ともすっかりその魅力にはまってしまいました。それから何度か続けてお寺を巡りましたが、若い時は他に行きたいところも多く（笑）そのままになっていました。年を重ねてくるとなかなか何かを達成することも少なくなり、2年前にふと思い立ち再開。今まででは旅行メインの旅でしたが、お遍路メインの旅を始めると、本当に人との出会いを感じる旅でした。車遍路は同じペースで回る事が多く、最初は挨拶程度だったのが、顔見知りになり、一言二言会話するようになっていく過程も楽しみの1つでした。特にお寺によっては下の駐車場から何百段と階段や坂道を登っていくこともあります。その道中、みんなが声を掛け合い励ましあいながらひたすらお寺を目指して歩いて行く。一期一会の出会い、どんなにしんどくても前を向いて進んで行く、お遍路そのものが人生なんだなあと感じる事が多かったです。今回すべて巡礼し終えた時、想像していた達成感とは違っていました。最初はどちらかというとスタンプラリー感覚でしたが、納経帳を見返すと今までの事が思い出され、じわじわと胸に熱いものが込み上げるような、寂しいような何とも言えない気持ちになりました。お遍路は何回も巡礼されている方が多いですが、少しその気持ちが分かるような気がしました。そして、途中から見つけたこの旅のもう1つの楽しみ。それは尾道市から巡礼されている2人の女性が連盟で柄杓を奉納されているのですが、その名前が私の2人の祖母と同じ名前でした。手洗い所でその柄杓を見つける度に、今は亡くなっている2人の祖母に導かれているような、見守られているような、また逢いに行っているようなそんな嬉しい気持ちになりました。今回のお遍路旅は終了ですが、また機会があれば行きたいですし、いつか高野山の奥の院に行って納経帳を完成させたいと思っています。

